# 平成 23 年（2011 年）青森県産業連関表の概要

平 成 ２ ９ 年 ２ 月企画政策部統計分析課

# １ 青森県産業連関表の構造

青森県産業連関表は、本県において１年間に、産業、政府、家計などの経済主体が行った財・サービスに関する取引を行列形式で一覧表にしたものである。

産業連関表を部門ごとに縦方向に見ると、その部門の財・サービスの県内生産額とその生産に用いられた投入費用構成がわかる。また、部門ごとに横方向に見ると、その部門の財・サービスがどの部門でどれだけ需要されたのか、産出（販売）先構成がわかる。

今回公表するのは平成 23 年表で、本県では昭和 39 年に「昭和 35 年青森県産業連関表」を公表して以

降、国に合わせてほぼ５年ごとに作成しており、今回で 11 回目となる。

また、付帯表として雇用表を公表（平成７年表から作成、今回で 4 回目）している。

産業連関表は、経済に関する各種統計を加工して作成したものであり、経済構造の分析、経済施策の波及効果分析、経済の将来予測等に利用されている。

表１ 平成 23 年（2011 年）青森県産業連関表（３部門）

（単位：億円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 中 間 | 需 要 | 最 終 | 需 要 | 需要合計 | 移 輸 入 | 県生 | 産 | 内額 |
| 第 １ 次産 業 | 第 ２ 次産 業 | 第 ３ 次産 業 | 内 生部 門 計 | 消 | 費 | 投 資 | 移 輸 出 | 最 終需 要 計 |
| 中間投入 | 第産 | １ | 次業 | 387 | 1,690 | 117 | 2,195 | 378 | 74 | 2,314 | 2,766 | 4,960 | -1,194 | 3,767 |
| 第産 | ２ | 次業 | 900 | 7,830 | 5,487 | 14,218 | 6,005 | 9,425 | 12,597 | 28,027 | 42,245 | -18,452 | 23,793 |
| 第産 | ３ | 次業 | 602 | 4,462 | 11,193 | 16,257 | 34,320 | 1,758 | 7,259 | 43,337 | 59,594 | -11,044 | 48,550 |
| 内生部門計 | 1,890 | 13,982 | 16,797 | 32,669 | 40,702 | 11,257 | 22,170 | 74,130 | 106,799 | -30,689 | 76,110 |
| 粗付加価値 | 雇用者所得 | 356 | 4,714 | 15,469 | 20,538 | （注）40部門表による。第１次産業：農業、畜産、林業、漁業第２次産業：鉱業、製造業、建設、電力・ガス・熱供給、事務用品第３次産業：水道、廃棄物処理、商業、金融・保険、不動産、運輸・郵便、情報通信、公務、サービス、分類不明四捨五入の関係で内訳は必ずしも一致しない。 |
| 営 | 業 余 | 剰 | 909 | 1,162 | 7,354 | 9,425 |
| 資耗 | 本引 | 減当 | 543 | 2,971 | 6,928 | 10,441 |
| そ付 | の 他加 価 | 粗値 | 70 | 964 | 2,003 | 3,036 |
| 粗付加価値部 門 合 計 | 1,877 | 9,810 | 31,753 | 43,440 |
| 県 内 生 産 額 | 3,767 | 23,793 | 48,550 | 76,110 |

# ２ 平成 23 年青森県産業連関表からみた本県経済の概要

財・サービスの総供給は10 兆6,799 億円で、うち県内生産額は7 兆6,110 億円（総供給の71.3％）、

移輸入は 3 兆 689 億円（同 28.7％）であった。平成 17 年と比べると、総供給は 5.1％、県内生産額は 1.5％、移輸入は 15.1％いずれもプラスとなった。

財・サービスの総需要は 10 兆 6,799 億円で、うち中間需要が 3 兆 2,669 億円（総需要の 30.6％）、

最終需要が 7 兆 4,130 億円（同 69.4％）であった。最終需要の内訳は、県内最終需要が 5 兆 1,960 億円（最終需要の 70.1％）、移輸出が 2 兆 2,170 億円（同 29.9％）であった。

図１ 平成 23 年青森県産業連関表による財・サービスの流れ

中間投入率

[42.9%]

粗付加価値率

[57.1%]

県内生産額 [71.3%]

移輸入 [28.7%]

総供給 10兆6,799億円 (100.0%)

中間需要 [30.6%]

最終需要 ［69.4%]

移輸入

3兆689億円

総需要 10兆6,799億円 (100.0%)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 中間投入 3兆2,669億円 |  | 粗付加価値 4兆3,440億円 |
| 財の投入1兆6,412億円 (50.2%) | サービスの投入1兆6,257億円(49.8%) | 雇用者所得2兆538億円(47.3%) | 営業余剰9,425億円(21.7%) | 資本減耗引当1兆441億円(24.0%) | その他3,036億円 (7.0%) |
|  |  |  |

|  |
| --- |
| 県内生産額 7兆6,110億円 |
| 財の生産2兆7,560億円(36.2%) | サービスの生産4兆8,550億円 (63.8%) |

最終需要 7兆4,130億円

|  |
| --- |
| 県内最終需要 5兆1,960億円 (70.1%) |
| 消 費4兆702億円(78.3%) | 投 資1兆1,257億円 (21.7%) |

(注) 1 40部門表による。「財」は01～25,39の合計、「サービス」は26～38、40の合計である。

移輸出

2兆2,170億円 (29.9%)

1. 四捨五入の関係で、内訳は必ずしも合計と一致しない。
2. ここで「消費」とは、「家計外消費支出」、「民間消費支出」及び「一般政府消費支出」をいい、

「投資」は、「県内総固定資本形成（公的＋民間）」及び「在庫純増」（調整項含む）をいう。

# ３ 本県経済の構造

（１）県内生産額の推移

平成 23 年に県内の各産業で生産された財・サービスの総額（県内生産額）は 7 兆 6,110 億円で、

平成 17 年に比べ 1,111 億円（1.5％）増加した。

図２ 県内生産額の推移

(億円) 120,000

23.0

県内生産額

伸び率(右軸)

77,136

78,789

81,876

74,999

76,110

66,239

1.5

 2.1

-8.4

16.5

(％) 30.0

105,000 25.0

90,000 20.0

75,000 15.0

60,000 10.0

45,000 5.0

30,000 0.0

15,000 -5.0

0

平成2年 7年 12年 平成12年 17年 23年

-10.0

（自家輸送部門なし・社会資本等減耗分含まず） （自家輸送部門特掲・社会資本等減耗分含む）

（２）産業別生産額

平成23 年の県内生産額の産業別構成比をみると、最も割合が高いのはサービスで24.9％を占め、次いで製造業（20.5％）、公務（10.1％）と続いている。製造業の内訳では、非鉄金属が 5.7％で最も高く、次いで飲食料品（5.1％）、業務用機械（1.5％）と続いている。

産業別に県内生産額の平成 17 年からの伸び率をみると、プラスとなった主な産業は、情報通信

（20.5％）、製造業（16.5％）、公務（9.9％）となっている。一方、マイナスとなった主な産業は、鉱業（△42.2％）、林業（△37.5％）、漁業（△32.6％）となっている。製造業の内訳では、非鉄金属（303.8％）、輸送機械（122.8％）などがプラスとなった一方、情報・通信機器（△73.9％）、パルプ・紙・木製品（△34.5％）などはマイナスとなった。

また、第１次、２次、３次産業別に県内生産額の平成 17 年からの伸び率をみると、第１次産業が 6.5％のマイナス、第２次産業が 9.6％のプラス、第３次産業が 1.4％のマイナスとなった。

（注）平成 17 年値は、平成 23 年値と比較するために、37 部門を 40 部門に組み替えている。

表２ 産業別県内生産額

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 実額（億円） | 構成比（％） | 伸び率（％） | 寄与度（％） |
| 平成１７年 | 平成２３年 | 平成１７年 | 平成２３年 | 17年／23年 | 17年／23年 |
| 産業計 | 74,999 | 76,110 | 100.0 | 100.0 | 1.5 | 1.48 |
|  | 農業 | 2,374 | 2,329 | 3.2 | 3.1 | -1.9 | -0.06 |
| 畜産 | 796 | 870 | 1.1 | 1.1 | 9.3 | 0.10 |
| 林業 | 232 | 145 | 0.3 | 0.2 | -37.5 | -0.12 |
| 漁業 | 629 | 424 | 0.8 | 0.6 | -32.6 | -0.27 |
| 鉱業 | 287 | 166 | 0.4 | 0.2 | -42.2 | -0.16 |
| 製造業 | 13,368 | 15,580 | 17.8 | 20.5 | 16.5 | 2.95 |
|  | 飲食料品 | 4,124 | 3,918 | 5.5 | 5.1 | -5.0 | -0.27 |
| 繊維製品 | 401 | 472 | 0.5 | 0.6 | 17.7 | 0.09 |
| パルプ・紙・木製品 | 1,678 | 1,099 | 2.2 | 1.4 | -34.5 | -0.77 |
| 化学製品 | 316 | 253 | 0.4 | 0.3 | -19.9 | -0.08 |
| 石油・石炭製品 | 40 | 59 | 0.1 | 0.1 | 47.5 | 0.03 |
| プラスチック・ゴム | 153 | 136 | 0.2 | 0.2 | -11.1 | -0.02 |
| 窯業・土石製品 | 412 | 307 | 0.5 | 0.4 | -25.5 | -0.14 |
| 鉄鋼 | 1,119 | 1,092 | 1.5 | 1.4 | -2.4 | -0.04 |
| 非鉄金属 | 1,074 | 4,337 | 1.4 | 5.7 | 303.8 | 4.35 |
| 金属製品 | 386 | 305 | 0.5 | 0.4 | -21.0 | -0.11 |
| はん用機械 | 39 | 26 | 0.1 | 0.0 | -33.3 | -0.02 |
| 生産用機械 | 465 | 385 | 0.6 | 0.5 | -17.2 | -0.11 |
| 業務用機械 | 818 | 1,142 | 1.1 | 1.5 | 39.6 | 0.43 |
| 電子部品 | 1,141 | 814 | 1.5 | 1.1 | -28.7 | -0.44 |
| 電気機械 | 375 | 429 | 0.5 | 0.6 | 14.4 | 0.07 |
| 情報・通信機器 | 241 | 63 | 0.3 | 0.1 | -73.9 | -0.24 |
| 輸送機械 | 162 | 361 | 0.2 | 0.5 | 122.8 | 0.27 |
| その他の製造工業製品 | 297 | 259 | 0.4 | 0.3 | -12.8 | -0.05 |
| 事務用品 | 126 | 123 | 0.2 | 0.2 | -2.4 | 0.00 |
| 建設 | 6,629 | 6,665 | 8.8 | 8.8 | 0.5 | 0.05 |
| 電力・ガス・水道 | 1,884 | 1,809 | 2.5 | 2.4 | -4.0 | -0.10 |
| 商業 | 8,438 | 7,068 | 11.3 | 9.3 | -16.2 | -1.83 |
| 金融・保険 | 3,201 | 2,314 | 4.3 | 3.0 | -27.7 | -1.18 |
| 不動産 | 5,430 | 5,107 | 7.2 | 6.7 | -5.9 | -0.43 |
| 運輸・郵便 | 4,397 | 3,993 | 5.9 | 5.2 | -9.2 | -0.54 |
| 情報通信 | 2,101 | 2,531 | 2.8 | 3.3 | 20.5 | 0.57 |
| 公務 | 7,005 | 7,699 | 9.3 | 10.1 | 9.9 | 0.93 |
| サービス | 17,809 | 18,942 | 23.7 | 24.9 | 6.4 | 1.51 |
| 分類不明 | 420 | 469 | 0.6 | 0.6 | 11.7 | 0.07 |
| （ 再掲） | 第1次産業 | 4,031 | 3,767 | 5.4 | 4.9 | -6.5 | -0.35 |
| 第2次産業 | 21,711 | 23,793 | 28.9 | 31.3 | 9.6 | 2.78 |
| 第3次産業 | 49,258 | 48,550 | 65.7 | 63.8 | -1.4 | -0.94 |

（３）投入構造

①中間投入

平成 23 年の県内生産額 7 兆 6,110 億円のうち、財・サービスの生産に必要となった原材料、燃

料等の中間投入額は 3 兆 2,669 億円で、平成 17 年と比べ 1,597 億円（17 年比 5.1％）増加した。生産額に占める割合（中間投入率）は 42.9％となり、平成 17 年の 41.4％と比べて 1.5 ポイント上昇した。

②粗付加価値

平成 23 年に県内産業の生産活動によって生み出された粗付加価値の総額は 4 兆 3,440 億円で、

平成 17 年と比べて 487 億円（17 年比△1.1％）減少した。生産額に占める割合（粗付加価値率）は

57.1％で平成 17 年の 58.6％と比べて 1.5 ポイント低下した。

表３ 中間投入と粗付加価値の構成

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 金額(億円) | 構成比(％) | 伸び率(％) |
| 平成17年 | 平成23年 | 平成17年 | 平成23年 | 17年／23年 |
| 県内生産額 | 74,999 | 76,110 | 100.0 | 100.0 | 1.5 |
| 中間投入 | 31,072 | 32,669 | 41.4 | 42.9 | 5.1 |
| 粗付加価値 | 43,927 | 43,440 | 58.6 | 57.1 | -1.1 |

（４）需要構造

①中間需要

平成 23 年の総需要額 10 兆 6,799 億円のうち、県内の生産活動の原材料、燃料などとして消費さ

れた中間需要額は 3 兆 2,669 億円で、平成 17 年と比べ 1,597 億円増加した。総需要に占める割合

（中間需要率）は 30.6％となり、平成 17 年の 30.6％と同値となった。

②最終需要

平成 23 年における本県の最終需要額は 7 兆 4,130 億円で、平成 17 年と比べ 3,551 億円増加した。

内訳をみると、県内最終需要が 5 兆 1,960 億円で平成 17 年と比べ 1,122 億円、移輸出は 2 兆 2,170

億円で平成 17 年と比べ 2,429 億円いずれも増加した。

表４ 中間需要と最終需要の構成

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 金額(億円) | 構成比(％) | 伸び率(％) |
| 平成17年 | 平成23年 | 平成17年 | 平成23年 | 17年／23年 |
| 総需要 | 101,651 | 106,799 | 100.0 | 100.0 | 5.1 |
| 中間需要 | 31,072 | 32,669 | 30.6 | 30.6 | 5.1 |
| 最終需要 | 70,579 | 74,130 | 69.4 | 69.4 | 5.0 |
| 県内最終需要 | 50,838 | 51,960 | 50.0 | 48.7 | 2.2 |
| 移輸出 | 19,741 | 22,170 | 19.4 | 20.8 | 12.3 |

（５）県際取引構造

青森県と県外の取引状況をみると、移輸出額は 2 兆 2,170 億円（17 年比+12.3％）となり、移輸

入額は 3 兆 689 億円（17 年比+15.1％）となった。

県際収支（＝移輸出－移輸入）は 8,519 億円のマイナスで、平成 17 年と比べ 1,608 億円の増加となり、マイナス幅が拡大した。

表５ 移輸出と移輸入

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 金額(億円) | 構成比(％) | 伸び率(％) |
| 平成17年 | 平成23年 | 平成17年 | 平成23年 | 17年／23年 |
| 県内生産額 | 74,999 | 76,110 | 100.0 | 100.0 | 1.5 |
| 移輸出 | 19,741 | 22,170 | 26.3 | 29.1 | 12.3 |
| 県内需要額 | 81,910 | 84,577 | 100.0 | 100.0 | 3.3 |
| 移輸入 | 26,652 | 30,689 | 32.5 | 36.3 | 15.1 |
| 県際収支 | -6,911 | -8,519 | － | － | 23.3 |

(注）県内需要額は、調整項を除く。

# ４ 本県経済の機能

（１）生産波及の大きさ

平成 23 年の逆行列係数表（*I*  *I*  *M* *A*1 型※）から、ある産業に最終需要が１単位生じた場合の生産波及の大きさをみると、全産業平均では 1.2913 倍であり、平成 17 年と比べて 0.0354 ポイント低下した。

産業別にみると、飲食料品（1.4970 倍）、畜産（1.4892 倍）、鉱業（1.4319 倍）、パルプ・紙・木製品

（1.4281 倍）、水道（1.4224 倍）などが全産業平均より大きくなっている。

生産波及の大きさを平成 17 年と比べると、上昇した主な業種は、情報・通信機器、電力・ガス・熱供給、業務用機械となっている。一方、低下した主な業種は、石油・石炭製品、窯業・土石製品、パルプ・紙・木製品となっている。

※*I*  *I*  *M* *A*1 型とは、移輸入を考慮した逆行列係数で、産業連関表を用いた生産波及分析において一般的に利用されている型である。

表６ 逆行列係数表（列和）*I*  *I*  *M* *A*1 型

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 平成17年 | 平成23年 |
| 農業 | 1.2732 | 1.2166 |
| 畜産 | 1.4988 | 1.4892 |
| 林業 | 1.3124 | 1.3293 |
| 漁業 | 1.1887 | 1.1752 |
| 鉱業 | 1.5038 | 1.4319 |
| 飲食料品 | 1.5467 | 1.4970 |
| 繊維製品 | 1.2505 | 1.2181 |
| パルプ・紙・木製品 | 1.5465 | 1.4281 |
| 化学製品 | 1.3006 | 1.2678 |
| 石油・石炭製品 | 1.3416 | 1.1946 |
| プラスチック・ゴム | 1.2113 | 1.2066 |
| 窯業・土石製品 | 1.4987 | 1.3570 |
| 鉄鋼 | 1.3176 | 1.3266 |
| 非鉄金属 | 1.1565 | 1.1262 |
| 金属製品 | 1.2420 | 1.2021 |
| はん用機械 | 1.2305 | 1.2716 |
| 生産用機械 | 1.3054 | 1.2134 |
| 業務用機械 | 1.1642 | 1.2488 |
| 電子部品 | 1.2583 | 1.3065 |
| 電気機械 | 1.2626 | 1.2700 |
| 情報・通信機器 | 1.2466 | 1.3464 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 平成17年 | 平成23年 |
| 輸送機械 | 1.2382 | 1.1849 |
| その他の製造工業製品 | 1.3065 | 1.2766 |
| 建設 | 1.3308 | 1.2802 |
| 電力・ガス・熱供給 | 1.3340 | 1.4215 |
| 水道 | 1.4372 | 1.4224 |
| 廃棄物処理 | 1.2295 | 1.1879 |
| 商業 | 1.2753 | 1.2379 |
| 金融・保険 | 1.3229 | 1.2511 |
| 不動産 | 1.1326 | 1.1843 |
| 運輸・郵便 | 1.3447 | 1.3046 |
| 情報通信 | 1.3291 | 1.3432 |
| 公務 | 1.1751 | 1.2466 |
| 教育・研究 | 1.1769 | 1.2047 |
| 医療・福祉 | 1.2267 | 1.2168 |
| その他の非営利団体サービス | 1.2542 | 1.3130 |
| 対事業所サービス | 1.2266 | 1.1975 |
| 対個人サービス | 1.3203 | 1.2844 |
| 事務用品 | 1.5552 | 1.4265 |
| 分類不明 | 2.1968 | 1.5458 |
| 全産業平均 | 1.3267 | 1.2913 |

（注）40部門表による。

（２）最終需要項目別にみた各種誘発額

①最終需要と生産誘発額

県内生産額 7 兆 6,110 億円が、どの最終需要によって誘発されたかを最終需要の項目別にみると、

最も大きいのは移輸出で 2 兆 8,157 億円の生産が誘発され、次いで民間消費支出（1 兆 9,466 億円）、一般政府消費支出（1 兆 7,950 億円）と続いている。１単位あたりの最終需要に対する生産誘発の大きさをみると、最終需要全体では 1.0267 倍で、平成 17 年の 1.0626 倍と比べて低下した。

②最終需要と粗付加価値誘発額

粗付加価値 4 兆 3,440 億円が、どの最終需要によって誘発されたかを最終需要の項目別にみると、

最も大きいのは移輸出で、1 兆 4,198 億円の粗付加価値が誘発され、次いで民間消費支出（1 兆 2,317 億円）、一般政府消費支出（1 兆 1,452 億円）と続いている。１単位あたりの最終需要に対する生産誘発の大きさをみると、最終需要全体では 0.5860 倍で、平成 17 年の 0.6224 倍と比べて低下した。

③最終需要と移輸入誘発額

移輸入額 3 兆 689 億円が、どの最終需要によって誘発されたかを最終需要の項目別にみると、最

も大きいのは民間消費支出で 1 兆 2,413 億円の移輸入が誘発され、次いで移輸出（7,972 億円）、県内総固定資本形成（民間）（4,846 億）と続いている。１単位あたりの最終需要に対する移輸入誘発の大きさをみると、最終需要全体では 0.4140 倍で、平成 17 年の 0.3776 倍と比べて上昇した。

表７ 最終需要項目別生産・粗付加価値・移輸入誘発額及び誘発係数

*I*  *I*  *M* *A*1

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 生産誘発額（億円） | 粗付加価値誘発額（億円） | 移輸入誘発額（億円） |
| 平成17年 | 平成23年 | 平成17年 | 平成23年 | 平成17年 | 平成23年 |
| 最終需要計 | 74,999 | 76,110 | 43,927 | 43,440 | 26,652 | 30,689 |
| 家計外消費支出 | 1,121 | 1,227 | 641 | 701 | 639 | 631 |
| 民間消費支出 | 21,353 | 19,466 | 13,946 | 12,317 | 10,900 | 12,413 |
| 一般政府消費支出 | 16,147 | 17,950 | 11,001 | 11,452 | 2,578 | 3,188 |
| 県内総固定資本形成（公的） | 4,600 | 3,959 | 2,216 | 2,009 | 1,519 | 1,585 |
| 県内総固定資本形成（民間） | 5,330 | 5,240 | 2,723 | 2,709 | 4,501 | 4,846 |
| 在庫純増 | 192 | 44 | 120 | 28 | 54 | 29 |
| 移輸出 | 26,256 | 28,157 | 13,280 | 14,198 | 6,461 | 7,972 |

（注）40部門による。平成23年最終需要計には調整項を含む。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 生産誘発係数（倍） | 粗付加価値誘発係数（倍） | 移輸入誘発係数（倍） |
| 平成17年 | 平成23年 | 平成17年 | 平成23年 | 平成17年 | 平成23年 |
| 最終需要計 | 1.0626 | 1.0267 | 0.6224 | 0.5860 | 0.3776 | 0.4140 |
| 家計外消費支出 | 0.8756 | 0.9217 | 0.5008 | 0.5262 | 0.4992 | 0.4738 |
| 民間消費支出 | 0.8594 | 0.7871 | 0.5613 | 0.4980 | 0.4387 | 0.5020 |
| 一般政府消費支出 | 1.1891 | 1.2261 | 0.8101 | 0.7822 | 0.1899 | 0.2178 |
| 県内総固定資本形成（公的） | 1.2317 | 1.1016 | 0.5934 | 0.5591 | 0.4066 | 0.4409 |
| 県内総固定資本形成（民間） | 0.7379 | 0.6936 | 0.3770 | 0.3585 | 0.6230 | 0.6415 |
| 在庫純増 | 1.1016 | 0.7847 | 0.6884 | 0.4922 | 0.3116 | 0.5078 |
| 移輸出 | 1.3301 | 1.2700 | 0.6727 | 0.6404 | 0.3273 | 0.3596 |

（注）40部門による。平成23年最終需要計には調整項を含む。

# ５ 平成 23 年青森県雇用表の概要

産業連関表の付帯表である雇用表は、各部門の生産活動に投入された従業者数等を示したものであり、生産波及効果に伴う新規雇用者数の推計等に利用される。

平成 23 年の青森県従業者総数は 66 万 8,685 人（17 年比△6.9％）で、産業別構成比をみると、サー

ビス（34.1％）、商業（16.6％）、農業（12.5％）などが高くなっている。また有給役員・雇用者数は 52万 9,341 人（17 年比△9.4％）で、産業別構成比をみると、サービス（37.7％）、商業（18.0％）、建設

（12.9％）などが高くなっている。

従業者を従業上の地位別構成比でみると、常用雇用者 69.6％、個人業主 11.9％、家族従業者 8.9％、臨時雇用者 4.9％、有給役員 4.7％となっている。

従業者係数（百万円の生産額に対して必要となる従業者数）をみると、全産業平均で 0.0879 となり、産業別では、農業（0.2608）、漁業（0.2044）、商業（0.1572）などが高くなっている。なお、従業者１人当たり県内生産額は全産業平均で 1,138 万円（17 年比＋9.0％）、従業者１人当たり粗付加価値は全産業平均で 650 万円（17 年比＋6.2％）であった。

また雇用者係数（百万円の生産額に対して必要となる有給役員・雇用者数）は、全産業平均で 0.0696 となり、産業別では、林業（0.1366）、商業（0.1352）、サービス（0.1055）などが高くなっている。なお、有給役員・雇用者１人当たり雇用者所得は、全産業平均で 388 万円（17 年比＋0.6％）であった。

図３ 従業者の産業別構成比・従業上の地位別構成比、有給役員・雇用者の産業別構成比

金融・保険 2.8%

 公務

 6.5%

有給役員

・雇用者数

529,341人

 建設

 12.9%

 商業

 18.0%

製造業10.8%

サービス37.7%

運輸・郵便5.8%

漁業 1.3%

金融・保険 2.3%

運輸・郵便 4.7%

公務 5.2%

従業者総数

668,685人

 11.2%

 農業

 12.5%

 商業

 16.6%

建設

製造業9.3%

サービス34.1%

農業 1.8%

有給役員 4.7%

臨時雇用者 4.9%

家族従業者8.9%

従業者総数

個人業主11.9%

668,685人

常用雇用者69.6%

表８ 従業者数、有給役員・雇用者数、従業者・雇用者係数、従業者１人当たり県内生産額

・粗付加価値、有給役員・雇用者１人当たり雇用者所得

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 従 業 者 数（人） | 有給役 員・雇 用 者 数（人） | 従 業 者係 数 | 雇 用 者係 数 | 従 業 者1 人 当 た り県内生産額（万円） | 従 業 者1 人 当 た り粗付加価値（万円） | 有給役 員・雇 用 者1 人 当 た り雇用者所得（万円） |
| 全産業 | 668,685 | 529,341 | 0.0879 | 0.0696 | 1,138 | 650 | 388 |
|  | 農業 | 83,416 | 9,291 | 0.2608 | 0.0290 | 384 | 186 | 268 |
| 林業 | 2,258 | 1,975 | 0.1562 | 0.1366 | 640 | 412 | 173 |
| 漁業 | 8,660 | 3,127 | 0.2044 | 0.0738 | 489 | 271 | 233 |
| 鉱業 | 766 | 747 | 0.0462 | 0.0451 | 2,163 | 898 | 407 |
| 製造業 | 62,395 | 57,135 | 0.0400 | 0.0367 | 2,497 | 962 | 392 |
| 建設 | 74,826 | 68,375 | 0.1123 | 0.1026 | 891 | 433 | 338 |
| 電力・ガス・水道 | 3,053 | 3,053 | 0.0169 | 0.0169 | 5,925 | 2,425 | 650 |
| 商業 | 111,114 | 95,536 | 0.1572 | 0.1352 | 636 | 458 | 284 |
| 金融・保険 | 15,183 | 14,817 | 0.0656 | 0.0640 | 1,524 | 1,082 | 462 |
| 不動産 | 5,169 | 2,589 | 0.0101 | 0.0051 | 9,881 | 8,121 | 703 |
| 運輸・郵便 | 31,160 | 30,717 | 0.0780 | 0.0769 | 1,281 | 627 | 380 |
| 情報通信 | 6,732 | 6,457 | 0.0266 | 0.0255 | 3,760 | 2,177 | 596 |
| 公務 | 34,670 | 34,670 | 0.0450 | 0.0450 | 2,221 | 1,451 | 766 |
| サービス | 228,166 | 199,739 | 0.1205 | 0.1055 | 830 | 524 | 380 |
| 分類不明 | 1,117 | 1,113 | 0.0238 | 0.0237 | 4,202 | 1,694 | 140 |